

令和6年度第3回神奈川県公立高等学校協議会
議 事 録

- 1 日 時 令和6年8月29日(木)
14時00分～14時40分
- 2 場 所 神奈川県自治会館8階 805・806会議室
- 3 出席委員等 田沼 光明 大澤 一仁 竹内 博之
柏木 照正 川名 稔 吉田 和市
宮村 浩文 北島 正(代理) 小日向 真(代理)
山田 ふみ子 渡貫 由季子
山崎 裕子

(敬称略)

座長（山田委員）

定刻となりましたので、「令和6年度第3回 神奈川県公私立高等学校協議会」を開催いたします。私学振興課長の山田です。前回に引き続きまして、座長を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

皆様、本日はご多用の中、また天気も大変不安定な中、お集まりいただきましてありがとうございます。本会議は、原則公開とされており、取材、傍聴者等につきましては、既に入室されておりますのでご承知おきください。

なお、本日は川崎市教育委員会 新田憲委員は御欠席ですけれども、代理で北島指導課担当課長に御出席いただいております。また、横須賀市教育委員会 鈴木史洋 委員も御欠席ですが、代理で教育指導課 小日向真主査指導主事にご出席いただいております。よろしくお願いいたします。

また、神奈川県公立中学校長の会代表 阿部康彦オブザーバー、神奈川県立高等学校長代表 會田勉オブザーバー、神奈川県私学保護者会連合会代表 鴨下博厚オブザーバーが御欠席となっております。御承知おきください。

議事に入ります前に、「かながわ教職員組合連合」及び「神奈川県高等学校教職員組合」から、8月22日付けで当協議会あての申し入れ文書が提出されております。文書の写しを資料に併せてお配りしておりますので、どうぞ御確認いただければと思います。

それでは議事に入りますが、本日取材に来られております神奈川新聞社様より、最初に写真撮影の希望がございましたが、皆様よろしいでしょうか。よろしくお願いいたします。

（写真撮影後）

それでは、お手元の次第に従いまして、議事を進めさせていただきます。議題ですけれども、前回に引き続きまして「令和7年度の『高等学校生徒入学定員計画』の策定について」となっております。前回もお話しさせていただきましたけれども、例年当協議会において、翌年度の公私の入学定員について協議を行い、公私間での合意を得た上で、その結果を神奈川県公私立高等学校設置者会議に報告しております。

協議に入る前に、前回の会議における議論を整理させていただきます。前回の会議では、令和6年度入学者選抜の結果が報告されまして、委員の皆様、またオブザーバーの皆様から色々な御意見いただきました。

その上で、令和7年度の定員目標の設定方法につきましては、昨年度に引き続きまして、「公私各々が実現を目指す定員目標を設定する方式」によることを確認しております。

また、定員計画の内容につきまして、2箇所、御意見がございました。また後ほど資料を見ながらご説明いたしますけれども、1箇所目といたしましては、定員計画の冒頭にあります、新型コロナウイルス感染症に関する文言について、表現を変更してはどうかという御意見をいただきました。

もう1箇所は「令和7年度の定員計画の方式」に記載があります「全日制進学率が概ね向上してきた」という内容について、現状の全日制進学率の実態を踏まえまして表現を変更するべきではないかといった御意見がございました。以上、2つの御意見を踏まえまして、一旦、事務局が持ち帰りまして、文言の修正を検討する方向とさせていただきます。

きました。

その他の点につきましては、時点修正を除きまして、昨年度の定員計画から文言の修正などの御意見はありませんでした。そして、公私の具体的な定員の目標数値につきましては、それぞれが持ち帰り、ご検討いただくことといたしました。以上が前回会議の振り返りとなります。

このあと、公私それぞれから定員目標の検討結果をご報告いただきますが、まずは今簡単に説明しました定員計画の文言の修正につきまして、「資料3」に基づきまして座長案というものを本日資料としてお配りしております。そちらについて、説明をさせていただきます。お手元の「資料3」をご覧ください。まず1ページ目の冒頭部の2段落目、「なお、令和7年度入学者選抜にあたって」というところを「新型コロナウイルス感染症」を取りまして、「感染症の発生状況によっては入学者選抜の実施にあたり必要な検討を行う。」といった文言に修正させていただきました。こちらの座長案につきまして、何か御意見ありますでしょうか。

全委員

意見なし。

座長（山田委員）

ありがとうございます。それでは、このように修正したいと思います。続いて2ページ目の「（1）令和7年度の定員計画の方式」の「・」の2つ目ですけれども、2行目「これまでの定員計画により全日制進学率が」という部分を「概ね9割を維持してきた成果を踏まえ」と文言を変更させていただきました。こちらの座長案につきまして、何か御意見ありますでしょうか。

全委員

意見なし。

座長（山田委員）

よろしいでしょうか。それではこのように変更したいと思います。

続きまして、議題の定員の目標数値について、公私それぞれからご報告いただきたいと思います。また、目標設定の考え方や実現に向けた取組等があれば、併せてご説明ください。まず、私学側からお願いいたします。

田沼委員

私学の方で検討しました結果、14,900人、と提出したいと思っております。去年と比べてマイナス50人となりますけれども、何度も申しておりますが、私学の場合は学則定員が決まっておりますので、それを動かすことはできないということがまずございます。

ただ、中学3年生の数が減りますので、それに合わせまして、少し減らしまして、14,900人を希望したいと思います。昨年度は14,950人という目標には達しておらず、若

干、下回ったのですが、県外なども含めると、だいぶ募集定員を超えたという感じではないかというふうに思います。今年はこの辺の数で、いかがかなと思っております。

座長（山田委員）

ありがとうございます。続いて公立側お願いいたします。

渡貫委員

公立側ですが、令和7年3月の公立中学校卒業予定者数が前年と比べて約750人の減少が見込まれているということ、それから、本県の全日制進学率が、先ほどの概ね9割を維持してきたことから引き続き目指していきたいということ、また県立の方では、県立高校改革実施計画Ⅲ期による募集停止などを色々と考慮いたしまして、公立側としては550人減の39,300人程度を目標とする数字でお願いしたいと思います。

座長（山田委員）

ありがとうございます。それでは、私学が14,900人、公立が39,300人で、公私あわせて600人減ということで。今、渡貫委員から、全体で約750人減ということでしたけれども、公立としては550人減というお話がありました。それではここで、公私それぞれ今提案された数値目標について、それぞれの立場で確認していただく必要があると思いますので、会議を一旦休憩したいと思いますがいかがでしょうか。

全委員

異議なし。

座長（山田委員）

それでは、公立、私学それぞれ控室をご用意しておりますので、案内いたしますので、そちらに移動していただきまして、数値目標についてご確認いただきたいと思います。ただいまより10分休憩といたしまして、再開は午後2時20分とさせていただきます。午後2時20分になりましたら、またこの部屋にお集まりいただきますようよろしくお願いいたします。

休 憩

座長（山田委員）

それでは協議を再開させていただきます。提案されました定員目標数値について、それぞれご意見をうかがいたいと思います。まず、私学側の委員からお願いいたします。

田沼委員

公立の39,300人と、私学で提案しました14,900人という数字は妥当ではないかと考えております。

座長（山田委員）

ありがとうございます。

竹内委員

ちょっとよろしいですか。ただ、心配がないわけではないですね。私学としては、昨年マイナス50人で14,900人という定員目標を設定しましたが、実は神奈川県私学の場合は、県外からの入学が思いのほか多く、先ほど田沼委員からもあったとおり、今年例でいくと14,950人という定員目標に対して、県内の中学校からの入学者は残念ながらちょっと足りなかった。

しかし、県内と県外から来た入学者とあわせると、私学側の計算で15,661人。募集定員に対する入学者数の割合充足率が約104.1%になっているというような状況になっています。首都圏ではトップレベルの充足率になっているのも確かなので、14,900人という目標数字は、私学としては妥当な数字じゃないかなと思っています。

ただ、公立の方で550人減を多く出させていただいて嬉しいですけども、その減るバランスを考えて、一部の学校に偏って減らすことのないようお願いしたい。公立と併願する私学もありますので、そのところをよろしくお願ひしたいなという要望もあります。

もう1つ気になることは、公立私立で、公立は550人、私学は50人減らしましたがけれども、この段階で概ね9割を目指す全日制進学率がどうなっているか多少気になる。場合によっては、再検討も必要なんじゃないかなというふうに私学側としては考えました。

座長（山田委員）

ありがとうございます。それでは、公立側もお願いします。

渡貫委員

中学校卒業予定者の減によって、私学の方も減らしていただけるということで、私学マイナス50人、公立マイナス550人ということで妥当な数字かと思えます。

座長（山田委員）

ありがとうございます。それぞれの目標数値について御検討いただいたところなのですが、ただ今、竹内委員から御発言ありましたけれども、私学で14,900人、公立で39,300人で、これをもとに、この目標が達成された場合に、全日制進学率がどれくらいになるか計算をしてもらいたいと思います。

事務局

計算いたします。（計算後）計算いたしました。先ほど、公私それぞれから発表がありましたとおり、令和7年3月の公立中学校卒業予定者66,307人に対して、公立の定員目標を39,300人、私学の定員目標を14,900人とし、県外の全日制高等学校への進学者について、割合を直近5年間平均の8.27%、人数を5,484人として計算しましたところ、全日制進学率は90.0%となります。以上でございます。

座長（山田委員）

ありがとうございます。ということで、目標の全日制進学率をやはり9割ということで進められるのかなという風に思っております。それでは今の全日制進学率を踏まえまして、それぞれ御意見をいただければと思うのですが、私学側の委員いかがでしょうか。

竹内委員

気持ち悪いくらい90%ですけど、四捨五入して90%なのでしょうか。

事務局

小数点以下第2位まで申し上げますと、90.01%でございます。

竹内委員

90%を超えているということで、目標を達成できるように全日制の魅力を公私ともに出していかなければならないと思います。達成するように公私とも頑張りましょう。

座長（山田委員）

ありがとうございます。それでは公立はいかがでしょう。

渡貫委員

今、竹内委員がおっしゃったとおりで、目標達成できるように頑張っていきたいと思っています。

座長（山田委員）

ありがとうございます。それでは横浜市さん、お願いいたします。

宮村委員

ここ数年、公私各々が自らの責任において定員を設定して、その実現を目指すという方法を取られてきていると思います。一定の効果があつたというふうに見ております。横浜市といたしましても、この方法を鑑みまして、これから進む中でしっかりと準備していきたいと思っています。

座長（山田委員）

ありがとうございます。それでは川崎市さんいかがでしょうか。

川崎市 北島指導課担当課長

川崎市でございます。県内の公立の中学校の卒業生数が、約750名減少しますということで、来年度につきましては横ばいになりますが、次年度につきましてはまた1,500名以上減少するというので、長期的に言うと、また公立中学校の卒業生が減少していくよ

うな状況があります。

このような状況の中で目標設定はなかなか難しいところではございますが、全日制進学実績の維持、また欠員の減少につなげるために、今回の公立の550名減が妥当な数字であると思われまます。

座長（山田委員）

ありがとうございます。続きまして横須賀市さんいかがでしょうか。

横須賀市 小日向主査指導主事

横須賀市です。これまでの協議を踏まえて、設定された目標数値は適正なものであると捉えております。以上です。

座長（山田委員）

ありがとうございます。山崎オブザーバーいかがでしょうか。

山崎オブザーバー

神奈川県PTA協議会の山崎です。それぞれ目標を定めていただいてありがとうございます。全日制進学率90%よろしく願いいたします。意見はありません。

座長（山田委員）

ありがとうございます。それではあらためまして、公立の定員目標39,300人、私学の定員目標14,900人ということになりますけれどもよろしいでしょうか。

全委員

異議なし

座長（山田委員）

ありがとうございます。これによりまして「資料の3」の5ページの四角囲みのところがあるのですが、そちらをご覧ください。そちらの上から3つ目の「・」のところ、現在空欄となっておりますけれども、こちらに「県内公立中学校卒業予定者のうち39,300人程度を入学定員の目標とする」としまして、その下の「・」のところには「14,900人程度」と記載いたします。

他にこの合意文書案について御意見ありますでしょうか。

全委員

意見なし。

座長（山田委員）

よろしいでしょうか。

それでは、本日の議題のまとめに移らせていただきます。ただいま公私の双方から提案されました定員の目標数値及び合意文書の内容については、御了解いただきました。これを踏まえまして令和7年度の定員計画を最終的に整理させていただきます。

本日の協議において、定員目標に係る公私間の合意が整ったところですが、これをもって「神奈川県公立高等学校設置者会議」の方に報告をさせていただきます。そこで定員計画の最終決定とさせていただきますと思います。

こちらの会議につきましては、現時点では9月5日に開催を予定しております。なお、最終的な文書の案ですとか形式の微調整は、大変恐縮ですが私にご一任いただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

全委員

異議なし

座長（山田委員）

それでは、最後に「その他」といたしまして皆様から何か御意見ありますでしょうか。

全委員

なし

座長（山田委員）

よろしいでしょうか。それでは、これをもちまして令和6年度第3回の神奈川県公立高等学校協議会を終了させていただきます。本日はどうもありがとうございました。